

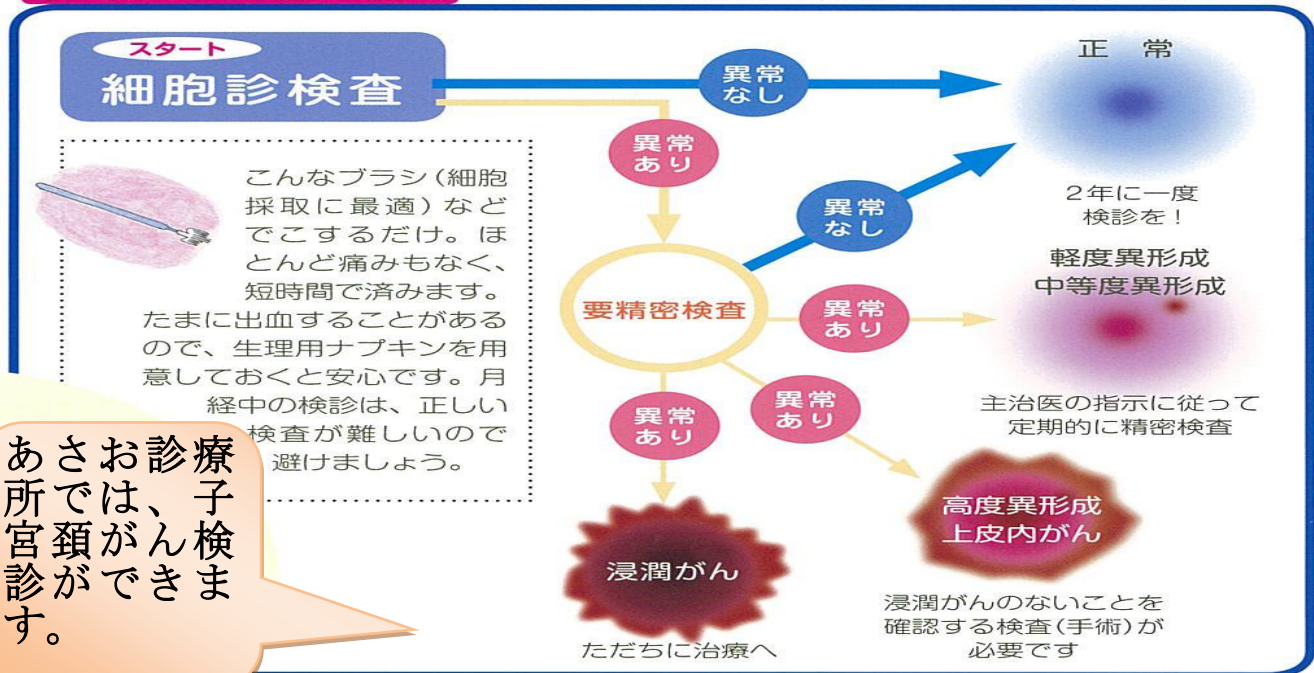
二十歳を過ぎたら二年に一度検診を！

子宮頸がんは、30歳代後半~40歳代でがんになる可能性が最も高く、50歳以上でも発症のリスクがあります。日本では年間3500人、一日当たり約10人が子宮頸がんで亡くなっています。

子宮頸がんは、検診で死亡リスクが80%減少すると言われており、またがん一步手前（前がん病変）でも見つけることができます。

子宮頸がん検診の流れ

※不正出血などの自覚症状がある人は、ただちに婦人科を受診しましょう。



あさお診療所では、子宮頸がん検診ができません。

精密検査が必要な場合は、不安がらずに必ず受けましょう！

コルポスコープ（子宮頸部を拡大して観察する医療機器）のある医療機関で検査を受けます。

子宮頸がんの原因は、主に性交渉によるHPV（ヒトパピローマウイルス）感染です。

HPVは、ごくありふれたウイルスで、多くの女性が一生に一度は感染するといわれています。

予防のためには子宮がん検診とHPV予防ワクチンをうけることをお勧めします。

あさお診療所では、常時子宮頸がん検診受付中です。

この機会に子宮頸がん検診を受けることをお勧めします。

またHPV予防ワクチンは、予約制です。

子宮頸がん検診、HPV予防ワクチン詳細は、看護師、または事務にお気軽に声をおかけ下さい。